



## 実りある2学期に感謝して！

木枯らしに木の葉が舞い、冬らしい日が続くようになりました。平素は聖母の小さな学校の教育に格別のご理解、ご協力をいただき、深く感謝致します。

さて、今日12月24日に2学期の終業式を致しました。生徒たちの2学期は、自分が持っている困りごと（不登校もその一つです）と向き合いながら、聖母で学ぶ生活を作っていくことから始めました。家に引きこもった状態から、「朝でも夜でも、10分でもいいから聖母に行く事が大事だ！」（生徒の声）から始まり、1日1日を意識的に過ごしました。徐々に登校日数が増え、安定してきました。また、登校時間も定時登下校へと移行しつつあります。そして生徒たちが「自分が持っている困りごと」に目を向け、自分が納得するやり方で考え、整理し、「その困りごとを抱えていた日々」が自分の現在に有意なものであったと実感するというプロセスを歩みました。生徒がたどるプロセスは一人ひとり違いますし、また、教え込むものではなく、自然に生まれてくるものだと思います。例えば、家族との交わりが増え、「言葉」も増えてゆきます。言葉を交わすことにより、親も子も、好ましい変化をつかみ、共有してゆきます。親も子も希望が持てます（この時、生徒は、「親が変わった」とよく言います）。言葉を交わすことが難しい時は、行動を共にし、行動が語る言葉を拾い、互いに交わりを続けることです。生徒の中では言葉が動き、「困りごとの核心」に触れていこうとします。あの時の自分から今の自分へ再度歩み始めます。生徒は「真正面からは見たくない」と言いながら、「でも、しなければならぬ」と、あの時の自分を詳しく言葉にしてゆきました。私たちは、生徒の「でも、しなければならぬ」という言葉の中に、強い思いを感じました。「涙も出てくるくらい悲しいことだったし、死にたくなくなるような真っ暗な絶望的な日々だったし、何もいいことのない日々だった。だけど『自分』だった」という、あの時の自分を認める作業でしょうか。生徒が強い意志を持ったのは、他者に心を開けば希望が生まれることを感覚的に予知しているのでしょうか。この作業の時は「苦しくて涙も出る。いやだ！」。でも、一つ一つ進めながら、確かな明るさがありました。

2学期末の日々には、その明るさが、生きる力、学ぶ力になっていました。これが、生徒たちが得た実りでした。「生きとる（＝生きている）気がする」。この実感にあふれています。人との比較ではなく、「自分は自分」として、小さな誇りを持って生きています。こうした時、仲間同士の交わりも自由で、他を尊ぶ様子が見えます。それまでの「恐る恐る」の自己表現から、受け止め合う安心した表現へと変化しています。

情感を持ちにくい生徒も、相手の気持ちが感じられるまでの体験ができています。これは、社会の中で人々と共に働き生きる、必修の条件です。

このように、生徒たちが「スポーツフェスタ2024」（10月12日）を通して成長のステップを踏むことができたのも、聖母の小さな学校に係わってくださる皆様方の暖かな眼差しに包まれていたからです。どのような状態にある人間も否定しない、更に言うならば、何かができること、改善することすら求めない程の深い暖かみです。2学期のお支え、本当にありがとうございました。どうぞ今後においても、よろしくお導きくださいますよう、お願い致します。

### <お世話になった先生方>

陶芸（高井 晴美 先生）

体育（渡邊 弘 先生）

華道（山中 知昌 先生）

音楽（北浦 弘治 先生）

数学（江宮 文夫 先生）

歴史・校外学習（山下 正 先生）

ウズベキスタン文化（アシルベク先生）

英会話（藤原 キレン 先生）

校外学習（大久保 喜基 先生）

《余録》

ローマ教皇フランシスコは2019年訪日の折に、日本の社会が「有能さと生産性と成功のみを求める社会から、成功した人だけでなく誰にでも幸福で充実した生活の可能性が見える社会になるよう努めてください」とメッセージを残しています。私たちもこれに応え、日本の社会がもっと包摂的なものになるよう子どもたちに寄り添ってゆきたいと思います。



スポーツフェスタ・パネル製作



10/12「スポーツフェスタ 2024」



11/3「鯖街道を歩く」第7回



12/7 親子料理教室「ウズベキスタン料理」  
(於：舞鶴市立城北中学校調理室)

< 冬休みの予定 >

月日	曜	主な行事	月日	曜	主な行事
12/24	火	2学期終業式	1/1	水	元旦
25	水	冬休み (~1/7)	2	木	
26	木	小中学校との連絡会・面談日	3	金	
27	金	” ・ ”	4	土	
28	土	↑ 閉校	5	日	↓
29	日		6	月	
30	月		7	火	面談日
31	火	大晦日	8	水	3学期始業式 (8:30~11:00)

< 学校連絡先 > 学校：0773-77-0579 携帯：080-5345-6783